

令和2年7月16日(木) 豊田中学校 第2学年 学年通信 第14号 文責 山本 佳奈

## 職業調べ レポート発表会

志タイムで、職業調べのレポート発表会を実施しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、いつもとは異なり、レポートを読み合ったり感想を記録したり、コメントを付箋に書いて渡したりする紙面発表会となりました。









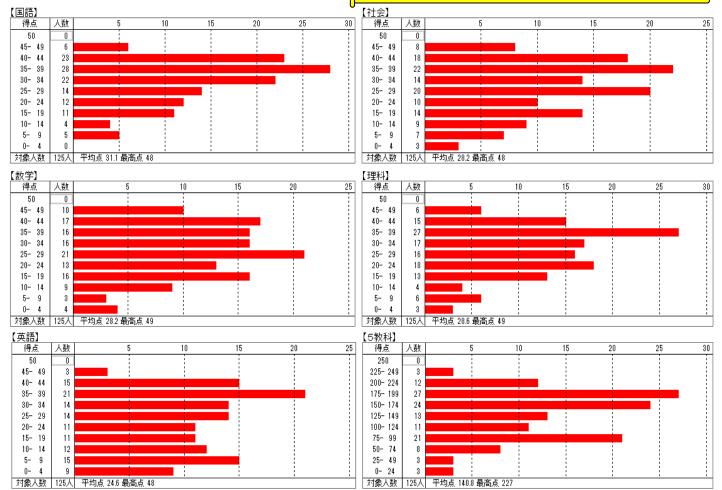




## 今後の志タイムについて

職業調べを終え、2学期の活動準備を始めていきます。例年2学期には、2日間の職業体験を実施していますが、今年度は新型コロナウイルスのこともあり、体験先の状況や生徒の安心等を総合的に判断して、実施を断念することになりました。そこで、10月7日(水)は4月に実施できなかったフィールドワークを予定しています。活動場所は、名古屋市から静岡市に変更します。今後の状況により、活動ができない可能性もあります。また、御家庭で相談していただき、参加の有無を確認することになるかもしれません。ただ、来年度の修学旅行で班活動の計画を立てられるように、実施や参加の有無に関わらず、全員計画づくりに取り組んでいきます。よろしくお願い致します。

## 7月9日(木)期末テスト結果 度数分布



## 傾向・分析、アドバイスなど

漢字の読み書き問題では、丁寧に書くことが身に付いてきた人が増えています。線の重なりやひらがなの形なども気を付けていきましょう。高校入試のときに採点するのは、みなさんの字を見慣れていない先生方です。きれいな字(自分の最も丁寧な字)を心掛けてください。

国語

今回は、5時間目ということもあったせいか、ミスが多かったかもしれません。しかし、一方では昼休みにリフレッシュして集中力を高め、昨年度よりも大幅に点数を上げた人もいます。今までも話していますが、問題の捉え間違いや条件の見逃しがないように、①何を聞かれているか、②どのように答えるのか、集中して問いを読みましょう。

全体としては、テスト返却時にも伝えましたが、今回のテスト記述や授業の様子を見ていると、それぞれに「読むこと」の力がついてきているように感じています。読むことができるようになってきたら、次は「書く(表現する)こと」です。苦手な人は繰り返し「書くこと」に挑戦、そして練習し、慣れていきましょう。

社会

基礎的な知識を問う問題については、ワークなどを使ってよく勉強しているように感じました。今回、感じたことは、「飢饉(ききん)」や「米価」のように、普段の生活では使わない用語の理解が不十分で、キーワードを使って文章にすることができなかった生徒が多かったことです。日頃の授業やワークに取り組む中で、意味のわからない言葉は聞いたり調べたりすることで解決していきましょう。



数

□は入試でもよく出題される問題です。比較的よくできていました。基本的な計算能力は身に付いている生徒が多かったです。②~4は、「年生で学んだ「資料の活用」です。累積度数を折れ線グラフで表す問題の正答率が低かったです。度数折れ線と累積度数の折れ線グラフの違いを確認しましょう。4以降は、2年生で学習した内容です。多項式の計算も連立方程式も、計算はよくできていました。その反面、用語の意味や方程式の本質の理解が不十分でした。普段の授業から「なぜ」「どうして」という視点で授業に臨むと理解が深まります。また、説明問題を2題出題しました。そのうち、「問は授業で扱った問題をそのまま出しましたが、あまりできていなかったです。テスト前に伝えましたが、授業や基礎問、単元テストから多く出題しています。復習ノートを使って何回も解きましょう。

数学の力を付けるためには、①本質を理解すること、②何回も解くことです。基礎問をやるときに、わからない問題をなくしましょう。友達や先生に聞いたり、教科書やノートを見たりして、分かるまで粘り強く取り組みましょう。そして、わかったら何回も練習しましょう。「○回やればいい」というものはありません。継続あるのみです!

- (1)2年生になってから学んだ | 年生の内容を出題しましたが、正答率が低かったです。テスト範囲が広かったこともあったのか、復習が追い付いていなかったように感じます。最低限の用語は覚えておいてほしいです。
- (2) 計算問題の解き方を理解している人が少なかったように感じます。「反応した量」を求めるのか「反応せずに残っている量」を求めるのかをはっきりさせたいですね。しかし、どちらも使うのは 4:1 などの比例式なので、その解き方から練習していきましょう。

埋科

- (3) 化学反応式を完璧に覚えてきた人と全く覚えていない人と二極化しました。今回のテストで絶対に出ることが分かっていたはずです。テスト期間中にどれだけ時間をかけられたかだと思います。「覚えられないからやらない」のではなく、「覚えるまでやる」という気持ちをもってほしいです。
- (4) 今回のテストでは、「記号」「物質名」「化学式」「元素記号」と条件を設定して解答させました。 しかし、条件と違う解答をしている人が見られました。条件のところに線を引いたり、見直しの時間をとったりする など**残念な間違いをなくしていきましょう。**
- ※理科の学習が基本になります。復習を確実にやりましょう。提出するために埋めてくるだけではだめです。

リスニングの問題は、「速かったぁ。」という感想が多く聞かれましたが、今回は、「速い」というよりは、「初めて経験する問題形式(一問一答形式)」だったことが難しいと感じた要因だったと思います。リスニング問題は、様々な形式がありますので、今後も多様な形式にチャレンジし、力を伸ばしてほしいと思います。

英語

作文作りの問題では、事前に繰り返し練習した人とそうでない人の差がはっきりと表れていたと思います。特に、 There is /are ~.の文章や過去進行形など、文章を作るルールが明瞭な文章でも、練習が不十分な人もいました。後半の熟語を問う問題も含めて、繰り返しの練習と自分テストをし、力の定着を図るようにしましょう。

最後に長文問題を出題しました。概要をつかむことはできていましたが、引っかけ問題に素直に引っかかっていました。文章を丁寧に読み取るようにしましょう。また、Who が主語となる疑問文には注意しましょう。

Quem é ele?









♠ 交通安全教室の会場準備をお手伝い中。